

# 山形県立上山明新館高等学校 令和元年度 学校評価書

学校 教育 目標	(1) 心身ともに健康で、豊かな情操を持つ人間を育成する。
	(2) 真理を求め、責任を重んじ、社会の変化に対応してたくましく行動できる人間を育成する。
	(3) 創造力に富み、自ら考え、主体的に学ぶ意欲と豊かな知性を持つ人間を育成する。
	(4) 国際的な視野を持ち、郷土を愛し、社会に奉仕し貢献できる人間を育成する。

目指す 学校像	(1) 校訓「日々新たに、また日に新たなれ」のもと、学習活動と特別活動、地域連携ボランティア活動などから、主体的に行動できる「人間力」のある生徒を育てる。
	(2) 専門学科で学ぶ知識や体験、資格を活かして社会に貢献できる、意欲あふれる生徒を育てる。
	(3) 特別活動や地域活動に積極的に参加し、人と人とのつながりを大切に、たくましい生徒を育てる。

< 評価基準 A:達成 B:概ね達成 C:やや不十分 D:不十分 >

領域	重点目標	評価項目・具体的目標 (1~15)	R1評価	昨年度	次年度に向けた課題と改善策	学校関係者評価 (令和元年度)
生徒理解	①面談及び教育相談活動の充実 ②不適応生徒への対応の充実 ③教職員の生徒理解を図る研修の充実	1. 面談実施と生徒理解の充実 ・学校適応指導委員会の開催 年7回 ・教育相談事業の実施 年24回 ・教職員の研修会の実施 年1回	① A ② B ③ B	① B ② B ③ B	・計画的かつ組織的な面談活動の継続 ・SCとの連携と職員間の情報共有 ・特別な支援を要する生徒への手立て ・適応指導委員会の位置づけの明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>3学科があることを生かして、探究型学習に力を入れている。探究したことを発表するだけでなく、できれば何か行動につながるような取り組みにしてほしい。街づくりや成果物の販売など、地域に積極的に出ていき若い人の力を発揮してほしい。</li> <li>明新館の卒業生は地元に残る人が多いようだ。地域とかわり、地域に根差した学校というところが大切。卒業生をぜひ地元に着定できるよう期待したい。</li> <li>働き方改革にかかわって、先生方には適度に休養日をしっかりとっていただきたい。そのうえで部活動や学習指導の一層の充実をお願いしたい。</li> <li>スクールカウンセラーとも連携して、生徒の心身面への支援を充実させてほしい。生徒指導の問題も多くないと聞いている。中学校へもアピールして、本校への志願者が増えるようにしてほしい。</li> <li>英語のスピークアウトなど全校で取り組んでほしい。自分の考えを相手に伝えるように話すことは、これからの社会の中において必要なコミュニケーション力だと考える。次の時代を見据えて必要な学力をしっかりとつけてほしい。</li> <li>生徒は挨拶もよく立派であると、近隣の町内会（八日町、東町、美咲町）会長から聞いている。通学の様子も良好のようだ。今後も続けてほしい。</li> <li>「明新館通信」は、近隣住民にも回覧されており、学校の様子がわかってよいとのことだった。一方、HPは更に充実させてほしい。</li> </ul>
学習指導	①学ぶ意欲の向上 ②学習習慣・基礎学力の定着 ③指導法の研究・改善 ④学習センターの利用拡大	2. 出席率99%以上 3. 授業第一の考えの徹底と家庭学習時間の確保 ・生徒による授業評価と授業改善 ・家庭学習時間調査の実施 ・教科ごとに1人以上の研究授業の実施 ・クラス及び全校一斉読書の実施、年間一人3冊以上貸出	① B ② B ③ B ④ A	① B ② B ③ B ④ A	・出席率の維持向上のための方策の検討 ・家庭学習時間の目標明示及び家庭学習習慣定着のための指導の工夫 ・新教育課程編成の本格化 ・読書指導の充実、今年度貸出数は一人5.45冊 ・授業研究、授業改善への取組み ・探究型学習の推進	
生徒指導	①品性ある行動と規範意識の向上及び生活習慣の確立 ②いじめ未然防止、早期発見、組織的対応 ③特別活動の充実と自治的能力の向上 ④部活動の充実・発展 ⑤地域貢献活動への積極的参加	4. 校訓の理解と実践及び挨拶の日常化 5. 規範意識の向上と問題行動の減少、いじめの絶無 6. 部活動の奨励 全国高校総体等団体1、個人5人以上 全国高校総文祭等団体1、個人5人以上 7. 地域貢献活動・ボランティア活動の理解と積極的参加 ・交通安全及び公共マナー指導の充実 ・主体的な生徒会活動の活発化	① B ② B ③ B ④ B ⑤ A	① B ② B ③ B ④ B ⑤ A	・問題行動の未然防止といじめ防止の取組み、SNS使用の指導充実 ・交通安全及び公共マナー指導の徹底 ・自主的・主体的な生徒会活動とリーダー育成 ・部活動奨励とガイドラインへの対応 ・地域貢献活動の継続と推進 今年度ボランティア参加38件・延462人	
進路指導	①キャリア教育の推進 ②進路目標の早期設定と進路実現 ③組織的・機能的な指導体制の確立	8. 「キャリア教育総合実践プログラム」の実施 9. 国公立4年制大学10名以上、私立大学60名以上合格 10. 看護・医療系専門学校30名以上、公務員10名以上 11. 就職内定率100% ・「進路の手引き」の活用、ガイダンスの充実 ・小論文指導研究と情報共有及び効果的指導の実践	① B ② B ③ B	① B ② B ③ B	・探究型学習と進路目標達成との運動 ・「総合的な探究の時間」の指導体制構築 ・今年度は国公立大学7名、私立大学93名、看護医療系専門31名、公務員20名合格 ・進学指導体制構築と指導法の研究 ・学びの基礎診断・模試等の分析と研究	
信頼される学校づくり	①PTA活動を通じた保護者との連携 ②外部評価の実施と活用・公開 ③情報発信による開かれた学校 ④体罰の絶無 ⑤地域関連学習の促進 ⑥積極的な研修と資質向上	12. PTA総会、PTA学年部会出席率60%以上 13. 学校評価アンケートの実施 14. 学校HP随時更新及び明新館通信、学年通信の発行 15. 魅力ある学校づくり 中学生体験入学の実施 ・地域関係機関や農家と連携した研究 ・「研修集録」の発行	① C ② B ③ B ④ A ⑤ A ⑥ B	① B ② B ③ B ④ A ⑤ A ⑥ B	・PTA総会参加率向上、PTA活動充実 ・学校評価アンケートの有効活用 ・HPの随時更新と各種通信の発行 ・体罰絶無への引き続きの取組み ・魅力ある学校づくりへの取組み具体化 ・創立30周年記念事業の準備開始	

アンケート評価 (回答の選択肢 a:よくあてはまる b:ややあてはまる c:あまりあてはまらない d:まったくあてはまらない e:わからない)

※以下の分析・把握では、「a」「b」を「肯定的評価」としている。

生徒	回収率は99.0%、18項目中11項目が80%以上の高評価であり、おおむね本校の教育活動が生徒の実態を踏まえて行われていること、生徒がそれを受け止めていることがうかがえる。「快適な学校環境」については、近年の猛暑などの影響があり、冷暖房設備の要望が多かった。本校は令和3年度に県でエアコンを設置する計画となっている。「学習してわからないところをよく質問に行く」は昨年の36.7%と比較すると、今年は62.6%と大幅に増加しており、学習への意欲や主体性をもって取り組んでいると回答した生徒が多くなっている。「読書で視野を広げようとしている」については、学習センター(学校図書室)を中心に読書を推進する企画を実施するなど様々な取組みを進めているが、今後とも継続していくことが求められる。
保護者	回収率が88.0%、20項目中17項目が80%以上の高評価であり、おおむね本校の教育活動にご理解いただいていることがうかがえる。「PTA活動等への協力」や「教職員とのコミュニケーション」については、義務教育段階と比較して、保護者が参加したり参観したりする機会が少ないため、回答しづらいという声があった。今後も保護者の方に学校に関心を持っていただけるよう、情報を提供したり、各種行事や説明会などの案内をしたりするなど、さらなる工夫が求められる。
教職員	学校の情報提供を充実させたり、面談での丁寧な説明を行ったりするなど、保護者との連携を一層すすめていく必要がある。学校運営における「学校行事の精選」や「校務分掌の在り方」について継続的に検討し、「授業研究の充実」や生徒の指導にかかわる時間が十分確保できる環境を作り出していくことが求められる。「生徒がよく質問に来る」については43%と昨年度並みの回答となっており、生徒の学びへの主体性、探究的に学習に向かう関心や意欲にもの足りなさを感じている教員が多く、指導方法の研究などが継続的な課題である。